# 

令和元年11月1日 練馬区立谷原小学校

#### 「小学校長会 全国大会より」 校長 池上 育志

二学期を迎えてから、度重なる台風等の豪雨により各地で被災しております。被害に遭 われた皆様に、謹んでお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧を心よりお祈りいたしま す。

毎年、様々な研究大会が行われておりますが、先日「全国連合小学校長会研究協議会 秋 田大会」に参加してきました。東京からは130名を超える校長の参加でした。二日目の シンポジウムでの内容で、未来創造について「豊かでみんなが幸せを感じる未来社会を創 造する教育が目指す人づくりとは『自ら学び社会と繋がり みなとともに未来をつくる 人』」とありました。そのためにどのように具体を進めるかということでした。

校長の役割としては、やはり「教師に学校の中で最も大事な授業に集中させること」と、 ありました。当然のことかとも思われますが、今、働き方改革がどの職業にもいわれてお ります。学校現場もまさにいわれております。私たちの職業は、子供たちの未来を担わせ ていただいております。大変やりがいもあり誇れる職と考えております。日々、確かに授 業等子供たちに直接関わることに時間を費やしていきたいところです。そして、「保護者・ 地域の皆様との連携」も欠かせぬこととして上がっておりました。

HP にて先日より提示させていただいておりますが、学校経営計画でもこのような内容を 示させていただいております。本校の教員も皆、子供たちに身に付けてほしい内容を確実 に修めていってもらうため日々の努力を重ねているところです。

改めて、保護者・地域の皆様と共にこれからも進めていかねばならないという思いを強 くした研究協議会でした。

昨年度より、ご案内しておりますが、今月26日火曜日は東京都教育委員会より指定を いただいております「プログラミング教育推進校」として子供たちの学びの成果について 「研究報告会」を周辺地域の学校に行うこととなっております。子供たちの当日の予定に つきましては、学年便り等でご案内いたしますが、こちらにつきましても PTA の皆様方に 様々ご協力をいただくこととなります。どうぞよろしくお願いいたします。





## 道徳授業地区公開講座

道徳教育推進教師 西澤 美花

11月の土曜授業の日に、道徳授業地区公開講座を実施いたします。この地区公開講座は、東京都教育委員会が学校、家庭及び地域社会が連携して子供たちの豊かな心を育むとともに、小・中学校等における道徳教育の充実を図ることを目的として実施しています。

3 校時に全学級が道徳の授業を行います。11 月は「ふれあい月間」でもありますので、授業の内容を「友達と仲良くすること」や「公正公平に人と接すること」を中心にしています。お子さんの学級だけでなく、他学級や他学年の授業もぜひご覧ください。

4 校時は、保護者の方を対象とした講演会を行います。今年度のテーマは、

#### 「子供の自己肯定感を育むために」

です。講師は、一般社団法人 日本ライフコミュニケーション協会理事の柴田正広(しばた まさひろ) 先生です。ちなみに、7月の児童アンケートで「自分にはよいところがあるか」という問いに肯定的に答えたのは、77%でした。

人間関係がうまくいかない原因は「コミュニケーションギャップ」。どちらか一方が悪いというのではなく、コミュニケーションがうまく取れていないからなのです。親子にしても同じです。価値観の違い、同じ言葉でも受け止め方や感じ方が違ってくることでコミュニケーションギャップが生まれます。

当日は、性格統計学に基づいたご講演をいただきます。皆様お誘いあわせの上、ご参加ください。 (場所は体育館です。)

## くすのき学級より

くすのき学級 板倉 将樹

1学期に1年生が1名、4年生を2名、5年生2名、2学期に入り1年生1名を新たに迎え、くすのき学級26名で賑やかに2学期のスタートを切りました。

9月には、プログラミング学習の研究授業を行いました。子供たちも楽しみながら学習する様子が見られています。

10月は、23日から25日まで毎年恒例の軽井沢宿泊学習に行きました。今年は昨年度までとは異なり、5月に岩井宿泊を行い、軽井沢が本年度2回目の宿泊学習となりました。岩井宿泊での経験を生かして、軽井沢宿泊をより良いものにしようと意気込んで事前学習などをすすんで行いました。

初日は群馬自然史博物館に行きました。普段は見ることのできない貴重な資料を手に取ってさわりながら、自然と生命の不思議について学びました。博物館を見学した後は、近くの公園でお弁当を食べ、元気いっぱい体を動かしました。

2日目は軽井沢アイスパークでカーリング体験をしました。普段体験することのできない氷上のスポーツに苦戦しながらも友達と一緒に楽しむことができました。

3日目には、群馬サファリパークに行きました。バスのすぐ近くを歩く動物たちに驚き ながらも普段よりも近くで見える動物たちの姿に目を輝かせている姿が大変印象的でした。 宿泊を通して、大きく成長しました。

## 武石移動教室を終えて~5年~

5年担任 伊藤 聖矢

「安全に 楽しく 協力して 新しい発見をしよう」をスローガンとして、10月10日から11日まで移動教室へ行ってきました。台風の影響で2泊の予定が1泊となってしまいましたが、子供たち一人一人が役割や行動に責任をもち、協力しながら過ごすことができました。

1日目の鷹山ファミリー牧場では、命の大切さや食の大切さを学び、夜にはミニきもだめし とキャンプファイヤーでの歌とダンスで元気よく盛り上がりました。

2日目の八島ヶ原湿原の散策では、練馬区では味わうことのできない大自然を感じ、美ヶ原 高原美術館では、家庭科の学習で学んだことを生かし、上手にお土産の買い物をしました。

移動教室が短くなってしまった残念な気持ちを表には出さず、気持ちを切り替えて行動する 姿は高学年らしくとても立派で、成長を感じることができる移動教室となりました。



ベルデ武石での開校式



大自然を感じた八島ヶ原湿

## プログラミング教育推進しています!!

研究主任 中野 拓郎

来年度からプログラミング教育が本格的にどの学校でも実施されるようになります。谷原小は昨年度から実践を先駆けて始めています。

プログラミング教育では全員がプログラミングの言語を覚えたりプログラマーになったりすることを目指すわけではありません。順序立てて考えることの大切さや何度も試行錯誤することでよりよいプログラムを考えていく思考力を育てていくことを目指しています。また、コンピュータの便利さに気付き、活用していこうという思いをもたせたいとも考えています。

今後大学受験などでもコンピュータを使った試験が入ってくるともいわれています。これからはコンピュータや AI をより活用する力が必須になってきます。その素地を養うためにプログラミング教育を実践していきます。

また、11月26日にはこの2年間の実践報告会を行います。授業は2,4、6年、くすのき学級で授業を公開します。近隣の小学校の先生たちに実践を報告し、練馬区に発信していこうと考えています。

これからさらに各学年でプログラミングの授業を実践していきます。ぜひ、お子さんとプログラミングの授業のことやコンピュータの話をしていただければと思います。

# 11月の予定

Н	曜	予定
	□Œ	ふれあい月間始
1	金	実習生研究授業・協議会
	717	移動教室事前健診 6 年
2	土	
3	占	文化の日
4	月	振替休日
5	火	手話教室4年 下田移動教室6年
6	水	安全指導
7	木	健康の日
8	金	<u> </u>
		学校公開 学校評議員会
9	土	道徳授業地区公開講座3校時
		講演会•意見交換会 4 校時
10		
11	月	校区別協議会のため4時間授業
4.0	111	なわとび週間
12	火	音楽鑑賞教室
13	水	就学時健診係活動 5 年
14	木	就学時健診のため3時間授業 (5.45)
15	金	(5年以外)↓ 特別時程 委員会⑧
16	土	村川时任 安良公()
17	日	
18	月	クラブ8
19	火	
20	水	
21	木	
22	金	
23	土	勤労感謝の日
24		
25	月	
26	火	特別時程
		プログラミング研究報告会
27	水	教育会のため特別時程
28	木	
29	金	ふれあい月間終
30	土	

#### ふれあい月間

生活指導主幹 関谷 宣明

11月は今年度2回目の「ふれあい月間」となります。今回は「いじめ」や「人との関わり」等をテーマに授業を行い、いじめ防止の意識向上を図ります。また、いじめアンケートを実施し、早期発見につなげていきます。

いじめのない学校づくりは、ご家庭の協力なしではできません。「いじめ」はいかなる理由があっても許されない行為であることを伝える、子供が発信するサインを見逃さないなど、日頃からコミュニケーションを十分にとっていただければと思います。心の傷の回復は、肉体の傷の回復よりもずっと難しいものです。

子供たちが安心して学校生活を送ることができるよう、何か気になることがありましたら、すぐに学校にご連絡ください。学校組織として迅速に対応して参ります。 宜しくお願いします。

夏休みの課題で取り組んでいただいた 「いじめ防止ポスター」を各クラス1点 選出し、掲示しています。ご来校の際に 是非ご覧ください。



#### ショート避難訓練

11月の避難訓練は、各クラスで時間と場所を設定して行います。その場所と状況で大地震が起こった時、危険なところはどこか確認し、どのように避難したら危険を回避できるかを子供に考えさせながら行います。

ご家庭でも、大地震が起きた時に、家の中の危険な場所や危険な状況はどんなことかを、お子さんと一緒に考えてください。